

※ 網掛けのない部分が計画，網掛けの部分が評価結果を受けて記入する。

1 教育目標（目指す児童像含む）

心身ともに健康で、自ら考え正しく判断し、豊かな心でたくましく生きる児童を育成する。

《目指す児童像》

- ・明るく思いやりのある子（豊かな心の育成）【やさしく】
- ・健康でねばり強い子（健康・体力の向上）【つよく】
- ・よく考え進んで学ぶ子（基礎学力の定着）【かしこく】

2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

「学校は子どものために」を基本理論とし、子どもの自己形成を図る創意と活力に満ちた魅力ある学校づくりに努める。そのために、子どもに目的意識を持たせ、子どものやる気を育て、夢や目標に向かってねばり強く努力することを温かく見守り認め励まし、子どもの心に生きる楽しい教育活動を展開する。全教職員が、専門職としての自覚と使命感を持ち、同僚性並びに和の信頼関係をもとに、学校と家庭・地域との連携を深めながら、自らの力で自分の未来を力強く切り拓いていく児童の育成を目指していく。

チーム細谷の力を高め、優しさと笑顔いっぱいの学校づくり

3 学校経営の方針（中期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針は文頭に○印を付ける。

- (1) 子どもの発達段階や個人差を十分考慮しながらやる気を育て、認め・褒め・励ます指導で、子どもたちの良さを伸ばしていく。
- (2) 教職員の専門性や創意工夫で同僚性を高め合いながら、共通理解に基づく協働体制で、勤務時間を意識した働き方の推進を図る。
- (3) 児童・保護者・地域との良好な関係構築に努め、家庭・地域との連携を図りながら、心身共に健やかな児童を育成する。教職員の健康安全管理に努める。
- (4) 積極的に情報発信し、開かれた信頼される学校づくりに努める。
- (5) 地域の特色や教育的資源を活用し、体験活動や交流活動を通して、心豊かな児童の育成に努める。

【宝木地域学校園教育ビジョン】

「いきいき宝木」心豊かな宝木っ子の育成をめざします

～他を思いやる心や規範意識を育み、基本的生活習慣や

主体的に学ぶ態度を身につけさせる指導の工夫～

4 今年度の重点目標（短期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針は文頭に○印を付ける。

【学校運営】

- ・子どもや教職員のやる気を育て笑顔あふれる温かい学校づくりの充実
- ・積極的な情報発信と地域連携の推進

【学習指導】

- ・○基礎・基本の定着及び学習意欲の向上と学習習慣の確立
- ・○家庭学習の習慣化
- ・学び合い、認め合い、励まし合っていこうとする豊かな心の育成

【児童生徒指導】

- ・○相手の気持ちを考え、正しく判断し、行動できる児童の育成
- ・互いの良さを認め合い、相手を思いやる豊かな心情と態度の育成

【健康（体力・保健・食・安全）】

- ・自分の健康や体力について関心を持ち、楽しく運動に取り組む児童の育成

5 自己評価（評価項目のAは市共通、Bは学校独自を示す。）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

※「主な具体的な取組」の方向性には、A拡充 B継続 C縮小・廃止、を自己評価時に記入する。

項目	評価項目	主な具体的な取組	方向性	評価				
学校運営の状況	<p>A1 学校は、活気があり、明るくいいきとした雰囲気である。</p> <p>【数値指標】全体アンケート「私は、今の学校が好きです」⇒児童・保護者の肯定的回答率90%以上</p>	<ul style="list-style-type: none"> 児童や地域の実態を踏まえて、前年度の評価結果と反省をもとに、教育課程を作成する。 児童が、学校行事や特色ある教育活動などに意欲的・主体的に取り組めるような場を設定する。 	B	<p>【達成状況】</p> <table border="1" data-bbox="1015 259 1508 331"> <tr> <td>児童</td> <td>88.9%</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>93.4%</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> 目標指標をおおむね達成しており、児童が生き生きと学校生活を送っている様子がうかがえる。 <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> 本校の特色である、近隣施設や高齢者との交流活動を実施するとともに、児童のあいさつや返事など、明るく元気にできるよう引き続き指導を重ねていく。 	児童	88.9%	保護者	93.4%
	児童	88.9%						
	保護者	93.4%						
	<p>A2 教職員は、組織の一員として熱心に教育に当たっている。</p> <p>【数値指標】全体アンケートの「先生は、大切なことを熱心に指導してくれる」⇒児童・保護者の肯定的回答率90%以上</p>	<ul style="list-style-type: none"> 全教職員が協力し合う体制（共通理解・共通指導）で学校運営に取り組む、児童に関する話合いの場を設ける。 児童一人一人の話を傾け、良い点は認め改善すべき点はきちんと指導する。 保護者との連絡を密にして信頼関係を築き、情報交換したことなどを日々の指導に生かす。 学校経営への参画意識をもち、担当校務分掌業務に主体的に取り組む、効率的な運営・改善を図る。 	B	<p>【達成状況】</p> <table border="1" data-bbox="1015 618 1508 689"> <tr> <td>児童</td> <td>95.0%</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>89.8%</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> 目標指標をおおむね達成している。 <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童、保護者の声に真摯に耳を傾け、お互いの信頼関係を築きながら連携・協力して児童の学習指導・生活指導に取り組んでいく。 本年度同様、全職員で問題を共有し、全校体制で解決していく。 	児童	95.0%	保護者	89.8%
児童	95.0%							
保護者	89.8%							
<p>A3 児童は、授業と生活のきまりやマナーを守り、秩序があり安全な学校生活をしている。</p> <p>【数値指標】全体アンケートの「児童は、授業と生活のきまりやマナーを守って生活している」⇒児童・教職員の肯定的回答率80%以上</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「きらきら細谷っ子生活の約束」が日常的に守れるように、生活目標を設定したり生活当番が巡回指導を行ったりし、継続的に指導していく。 道徳の授業内容を充実させるとともに、取り上げたルールやきまりを守ることの大切さを、学校生活の中に生かせるように指導する。 児童の実態把握に努め、校内外の児童の様子について全職員で共有するなど、全校体制による指導の充実を図る。 	B	<p>【達成状況】</p> <table border="1" data-bbox="1015 1043 1508 1115"> <tr> <td>児童</td> <td>78.4%</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>64.8%</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> 学年により、規範順守に開きが見受けられる。また、守ろうとする意識の個人差も大きい。 <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> 生活目標は、1年を通して担当が決めておき、放送で呼びかける。緊急性のある事案があるときは学校全体体制で見回り体制をとる。 「きらきら細谷っ子生活の約束」を活用して基底的指導をさらに徹底していく。 	児童	78.4%	教職員	64.8%	
児童	78.4%							
教職員	64.8%							
<p>A4 教職員は、分かる授業や児童にきめ細やかな指導を行い、学力向上を図っている。</p> <p>【数値指標】全体アンケート「先生方の授業は分かりやすく、一人一人に丁寧に教えてくれる」⇒児童の肯定的回答率90%以上</p>	<ul style="list-style-type: none"> 基礎・基本の定着を図るために、授業のねらいを明確にし、まとめや振り返りで確認し「分かる楽しい授業」を展開する。 ティームティーチングや少人数指導、かがやきルームでの指導を通して、児童一人一人の学習状況に応じたきめ細かな指導に努める。 教職員は積極的に研修会に参加し、研修内容の共有化を図る。 	B	<p>【達成状況】</p> <table border="1" data-bbox="1015 1435 1508 1469"> <tr> <td>児童</td> <td>90.8%</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> 授業のねらいを明確にし、まとめや振り返りで確認し「分かる楽しい授業」を展開してきた。また、個別対応を心掛け、少人数指導やかがやきルームの指導も充実させた。 <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> 校内研修の充実はもちろん、人権教育を意識した、「学び合う授業づくり」を積極的に行い、様々なニーズに応じた個別指導の支援体制の整備と指導の充実に向けていく。また、学習の「振り返り」を効果的に行えるようにする。 	児童	90.8%			
児童	90.8%							

<p>A5 教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している。</p> <p>【数値指標】全体アンケート「先生方は、いじめが許されないことを熱心に指導してくれる」 ⇒児童・教職員の肯定的回答率 95%以上</p>	<p>・児童がよりよい学校生活を送ることができるように、いじめアンケートを年間5回実施し、早期発見に努める。</p> <p>・道徳の時間や交流活動で学んだことが生かせるような学級経営を心掛け、児童同士の温かい人間関係を醸成する。</p> <p>○いじめゼロ強調月間（5月・9月）の取組を通して、児童にいじめは決して許されないことを理解させるとともに、学校での取組をたより等で保護者にも発信していく。</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1" data-bbox="1015 152 1506 219"> <tr> <td>児童</td> <td>95.3%</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>100%</td> </tr> </table> <p>・認知したいじめ件数は、昨年度より大幅に減少している。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>・児童がよりよい学校生活を送ることができるように、いじめアンケートを年に複数回実施し、早期発見に努める。</p> <p>・道徳の時間や交流活動で学んだことが生かせるような学級経営を心掛け、児童同士の温かい人間関係を醸成する。</p> <p>○いじめゼロ強調月間（5月・10月）の取組を通して、児童にいじめは決して許されないことを理解させるとともに、学校での取組をたより等で保護者にも発信していく。</p>	児童	95.3%	教職員	100%
児童	95.3%					
教職員	100%					
<p>A6 日課、授業、学校行事などの教育課程は、適切に実施されている</p> <p>【数値指標】全体アンケート「私の学校生活や様々な活動は充実している」 ⇒児童・の肯定的回答率 90%以上</p>	<p>・学校行事を年間通してバランスよく配置し、無理のない、児童の生活のリズムを考慮した日課とする。</p> <p>・授業時数を十分確保しながら、児童の興味・関心を高めたり、学習を深めたりできるような体験学習や出前講座なども必要に応じて取り入れていく。</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1" data-bbox="1015 672 1506 705"> <tr> <td>児童</td> <td>89.8%</td> </tr> </table> <p>・目標指標には、わずかに達していないが、計画した教育活動を滞りなく実施することができた。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>・今年度の反省を生かし、児童に負担の無い各種教育活動を適切に設定する。</p> <p>・今年度同様、児童の実態に応じて体験学習や出前授業も適宜取り入れていく。</p>	児童	89.8%		
児童	89.8%					
<p>A7 学校の公開や情報の積極的な発信・提供が行われている。</p> <p>【数値指標】全体アンケート「学校は学校便りや学校公開などで、積極的に情報を発信・提供している」 ⇒保護者・地域住民の肯定的回答率 90%以上</p>	<p>・学校だより、学年・学級だより、保健だより、食育だより、図書館だより等を発行したり、学校ホームページを定期的に更新したりして積極的に情報を提供し、保護者や地域の方々に学校の取組を知らせる。</p> <p>・「うつのみやオープンスクール」として、児童集会、授業参観、土曜授業、地域協議会委員参観などを実施し、積極的に学校を公開する。</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1" data-bbox="1015 996 1506 1064"> <tr> <td>保護者</td> <td>96.4%</td> </tr> <tr> <td>地域住民</td> <td>100%</td> </tr> </table> <p>・学校だより等の発行や学校HPの更新により、学校の取組や児童の様子を積極的に発信できた。</p> <p>・授業参観の他に一日学校公開日を設定し、日常の児童の様子を参観できる機会とした。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>・本年度同様に、授業や生活の様子を参観できる機会を設け、積極的に児童の学校での様子を見てもらう。</p>	保護者	96.4%	地域住民	100%
保護者	96.4%					
地域住民	100%					
<p>A8 学校と家庭・地域・企業等との連携・協力を図った地域の学校づくりが推進されている。</p> <p>【数値指標】全体アンケート「私は、地域や企業の方々と一緒に活動することで学習が充実し、楽しい」 ⇒児童の肯定的回答率 90%以上</p>	<p>・校外学習、オープンスクール、交流学习、ふれあい活動など、諸活動に参観や参加できる機会を多く設け、家庭・地域・企業等との連携を深める。</p> <p>・児童の教育活動の支援となるよう、学校支援ボランティアを募集・活用していく。</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1" data-bbox="1015 1388 1506 1422"> <tr> <td>児童</td> <td>90.0%</td> </tr> </table> <p>・保護者や地域人材ボランティアによる学習支援により、様々な活動で充実した指導を行うことができた。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>・ボランティアによる学習支援がさらに生かせるように、連携を図りながら教育活動を見直していく。学生ボランティアについては、必要な場面を見極め有効な活用を図っていく。</p>	児童	90.0%		
児童	90.0%					
<p>A9 校内は、学習にふさわしい環境となっている。</p> <p>【数値指標】全体アンケート「学校は清掃がしっかり行われ学習しやすい」 ⇒児童・保護者の肯定的回答率 85%以上</p>	<p>・学習意欲が喚起されるような掲示コーナーの設置や室内の整理整頓に努める。</p> <p>・整とんされた教室、清潔なトイレや水道となるよう清掃指導を充実させる。</p> <p>・随時校舎内外の巡視を行うとともに、毎月の安全点検を実施し、必要箇所の修繕を迅速に行い、学習環境の整備に努める。</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1" data-bbox="1015 1747 1506 1814"> <tr> <td>児童</td> <td>84.4%</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>92.3%</td> </tr> </table> <p>・自主学习コーナーで他の子の自主学习を見ることによって意欲が高まる子も出てきているので良い。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>・清掃については次年度も引き続き指導をしていく。</p>	児童	84.4%	保護者	92.3%
児童	84.4%					
保護者	92.3%					

教育活動の状況	A10	<p>学校は、「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。</p> <p>【数値指標】全体アンケート「学校は、小学生や中学生が交流する活動を行っている」⇒児童・保護者の肯定的回答率85%以上</p>	<p>○地域学校園教育ビジョンに基づき各部会でテーマを決め、適切な活動を行う。</p> <p>○小中相互乗り入れ授業を実施し、学校園の児童・生徒の学力の向上や学校生活支援において有効に機能させる。</p> <p>○小中合同のあいさつ運動や中学生による行事への参加などを積極的に実践し、地域の活性化を図る。</p>	C	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <tr> <td>児童</td> <td>89.0%</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>85.7%</td> </tr> </table> <p>・文化祭における中学校吹奏楽部の演奏・小中合同のあいさつ運動など、中学生との交流活動を充実させることができた。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>・充実させる取組と縮小させる取組を見極め、今後無理のない有効な活動となるように検討する。</p>	児童	89.0%	保護者	85.7%		
	児童	89.0%									
	保護者	85.7%									
	A11	<p>多様な専門性を有する学校スタッフの活用により、教員の業務が縮減されている。</p> <p>【数値指標】全体アンケート「多様な専門性を有する学校スタッフの活用により、教員の業務が縮減されている」⇒教職員の肯定的回答率80%以上</p>	<p>・学校運営の方向性を明確にし、教員も専門性を有するスタッフ（図書館司書・学校栄養士・かがやきルーム指導員・学校業務・指導助手等）も「チームとしての学校」の一員として、目的を共有し、取り組みの方向性をそろえるようにする。</p> <p>・教員一人一人の能力・得意分野を生かした組織づくりに努め、一人一人が十分に力を発揮できる環境を整備していく。</p> <p>・それぞれの職務内容、権限と責任を明確にし、当事者意識を持ちながら学校の課題への対応や業務の効率的な実施に取り組めるようにする。</p>	B	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <tr> <td>教職員</td> <td>75.0%</td> </tr> </table> <p>・教員も専門性を有するスタッフも学校目標を共有し同一の方向性をもって職務にあたっているが、スタッフの存在により教員の業務が縮減されているという実感はもてない現状がうかがえる。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>・それぞれの職務内容等を明確にし、業務の効率化を図る一方で、チームとしての学校として、課題に一枚岩となって取り組んでいく。</p>	教職員	75.0%				
	教職員	75.0%									
A12	<p>教員は多様な専門性を有する学校スタッフと円滑なコミュニケーションが図れている。</p> <p>【数値指標】全体アンケート「教員は多様な専門性を有する学校スタッフと円滑なコミュニケーションが図れている」⇒教職員の肯定的回答率80%以上</p>	<p>・教員、専門性を有するスタッフそれぞれの必要な情報を共有するための場を設定し、業務を円滑に進められるようにする。</p> <p>・日頃より、良好な人間関係作りに努め、専門スタッフが孤立するなどのことがないように声かけをし合い、お互いに配慮する。</p> <p>・管理職による専門スタッフとの面談を定期的に行い、専門性をより生かせるよう意思疎通を図る。</p>	B	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <tr> <td>教職員</td> <td>100%</td> </tr> </table> <p>・日常の職務はもとより、それ以外の交流により良好な人間関係が保たれた。また、スタッフによる専門性を生かした授業支援などを実施することにより、お互いの職務について理解が深まった。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>・本年度同様お互いの職務について理解し合い、良好な人間関係が保たれるようにする。</p>	教職員	100%					
教職員	100%										
B1	<p>地域協議会を核として子どもが様々な体験ができる温かい学校づくりを進める。</p> <p>【数値指標】全体アンケート「私は、地域の方々と協力し合っているいろいろな活動を行うのは楽しい。」⇒児童・地域住民の肯定的回答率85%以上</p>	<p>・地域の方々の協力を得ながら、田植えや稲刈りを行い、収穫した米を総合や生活科・家庭科などで活用したり、地域福祉施設等に差し上げたりして、地域の人々や自然と触れ合う場を設定する。</p> <p>・地域協議会やPTAと協力し、「文化祭」「読み語り」など、豊かな体験活動を展開する。</p>	B	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <tr> <td>児童</td> <td>89.1%</td> </tr> <tr> <td>地域住民</td> <td>90.9%</td> </tr> </table> <p>・地域の方々の協力を得ながら、田植え・稲刈りなどの体験活動や、読み聞かせ・ミシンボランティアなどの授業支援も充実させることができた。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>・地域協議会を核とした「農業体験」や「ふれあい交流」などを継続していく。</p> <p>・読み聞かせや授業支援などのボランティアをさらに充実させる。</p>	児童	89.1%	地域住民	90.9%			
児童	89.1%										
地域住民	90.9%										
生	A13	<p>児童は、進んであいさつをしている。</p> <p>【数値指標】全体アンケート「児童は、時と場に応じたあいさつをしている」⇒児童・教職員・地域住民の肯定的回答率80%以上</p>	<p>・日常的にあいさつの励行に努めるとともに、児童会中心のあいさつ運動を実施（月1回のあいさつ強化週間）し、習慣化を図る。</p> <p>○地域学校園での合同あいさつ運動を実施し、明るいあいさつが実践できるようにする。</p>	B	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <tr> <td>児童</td> <td>90.3%</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>82.1%</td> </tr> <tr> <td>地域住民</td> <td>95.5%</td> </tr> </table> <p>・上手な挨拶ができる児童と身に付いていない児童が二極化している。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>・日常的にあいさつの励行に努めるとともに、児童会中心のあいさつ運動を実施（月1回のあいさつ強化週間）し、習慣化を図る。</p> <p>○地域学校園での合同あいさつ運動を実施し、明るいあいさつが実践できるようにする。</p>	児童	90.3%	教職員	82.1%	地域住民	95.5%
児童	90.3%										
教職員	82.1%										
地域住民	95.5%										

	<p>A14 児童は、正しい言葉づかいをしている。 【数値指標】全体アンケート「児童は、時と場に応じた言葉づかいをしている」⇒児童・教職員の肯定的回答率 80%以上</p>	<p>○宝木地域学校園「生活のきまり」を各教室に掲示し、全学年共通の認識のもと指導にあたるようにする。 ・敬語の使い方等について学年に応じて適切な指導を行うとともに、家庭や地域での指導の協力を呼び掛けていく。(各種たより、学年学級懇談会、地域協議会等)</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <tr> <td>児童</td> <td>78.2%</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>67.9%</td> </tr> </table> <p>・相手や場に応じた言葉遣いができる児童と身に付いていない児童が二極化している。「はい」と返事できる児童は少ない。 【次年度の方針】 ○宝木地域学校園「生活のきまり」を各教室に掲示し、全学年共通の認識のもと指導にあたるようにする。 ・敬語の使い方等について学年に応じて適切な指導を行うとともに、PTA や地域協議会・学童保育等に対し、指導の協力を呼び掛けていきたい。(各種たより、学年学級懇談会、地域協議会等)</p>	児童	78.2%	教職員	67.9%
児童	78.2%						
教職員	67.9%						
	<p>B2 授業や集会・清掃等の集団活動では、全員が開始時刻を守っている。 【数値目標】 学校アンケート「私は、時間を守って行動している。」 ⇒児童・教職員の肯定的回答率 85%以上</p>	<p>・ノーチャイムで動かなくてはいけな活動が多いので、各人が自覚をもって遅れずに行動ができるよう意識化を図る。 ・教師自らが時刻を守って授業を開始・終了し、率先して行うことによって時間を守る意識を育てる。</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <tr> <td>児童</td> <td>84.4%</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>100%</td> </tr> </table> <p>・一部児童を除き、時間は概ね守れている。 【次年度の方針】 ・ノーチャイムで動かなくてはいけな活動が多いので、各人が自覚をもって遅れずに行動ができるよう意識化を図る。</p>	児童	84.4%	教職員	100%
児童	84.4%						
教職員	100%						
健康・体力	<p>A15 児童は、進んで運動する習慣を身に付けている。 【数値指標】全体アンケート「児童は、休み時間や放課後などに進んで運動している。」 ⇒児童の肯定的回答率 85%以上</p>	<p>・運動の日常化を図るため、体力向上プランに基づき、スポーツタイムや委員会のイベント、うつのみや元気っ子チャレンジへの取組を全校体制で実施していく。 ・運動への意欲を高め、めあてをもって自己の体力向上を目指せるように、各種検定カードを活用し、日々運動に取り組めるような時間を設定する。</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <tr> <td>児童</td> <td>86.6%</td> </tr> </table> <p>・アンケート結果では、昨年度よりも肯定的回答が増加し、児童の運動への関心の高まりを感じる。 【次年度の方針】 ・今年度の計画を継続しつつ、スポーツ大会の回数を増やしたり、遊びを紹介したりするなど、児童がより運動に親しめる環境を作っていく。</p>	児童	86.6%		
児童	86.6%						
	<p>A16 児童は、栄養のバランスを考えて食事をしている。 【数値指標】全体アンケート「児童は、好き嫌いなく給食を食べている」 ⇒児童の肯定的回答率 80%以上</p>	<p>・食育だよりを毎月発行し、食事の大切さ、栄養バランス、食文化等、食と健康に対する保護者の意識を高める。 ・栄養士による「食に関する指導」の授業支援、親子給食における講話を実施する。</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <tr> <td>児童</td> <td>84.8%</td> </tr> </table> <p>・給食の時間以外でも、意識して児童と普段の会話の中に栄養の大切さを伝えたアンケート結果では、昨年度よりも肯定的回答が増加した。 【次年度の方針】 ・栄養士が給食を児童と一緒に食べ、食育や健康に関する簡単な話やクイズなどをしながら楽しく会食をする。</p>	児童	84.8%		
児童	84.8%						
	<p>B3 児童は、自分の体に関心を持ち、健康的な生活を送っている。 【数値指標】 全体アンケート「私は、自分の体に関心を持ち、健康的な生活を送っている」 ⇒児童の肯定的回答率 85%以上</p>	<p>・毎月「保健だより」を発行し、健康な生活習慣形成のための情報を提供する。 ・自分の体に関心を持ち、健康な体づくりができるように健康診断の事前・事後指導を充実させる。</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <tr> <td>児童</td> <td>89.1%</td> </tr> </table> <p>・保健だよりなど、健康に関する情報をお便り等で積極的に家庭に提供することで、関心が高まってきている。 【次年度の方針】 ・保健委員会の活動が充実しているので、継続していく。 ・飲酒・喫煙などで外部の講師を招いて話を聞くことができるようにするなど、指導を充実させる。</p>	児童	89.1%		
児童	89.1%						

学 習	<p>A17 児童は、進んで学習に取り組んでいる。 【数値指標】全体アンケート「児童は、授業中に進んで話し合うなど、積極的に学習している。」 ⇒児童・教職員の肯定的回答率 85%以上</p>	<p>・朝の学習内容を充実させたり、漢字や計算において宮っ子学カステップアップシートを繰り返し活用したりするとともに、家庭学習にも進んで取り組めるような工夫をし、学習の定着と習慣化を図る。(漢字練習法の統一・自学ノートの活用) ・各教科の学習の中で表現する場を積極的に設け、自分の思いや考えを堂々と話せるような習慣化を図る。</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <tr> <td>児童</td> <td>87.9%</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>96.4%</td> </tr> </table> <p>・漢字練習法を統一したり、自学ノートを活用したりしたことで、定着と習慣化が図られてきた。 ・グループ学習など、学習形態を工夫したことにより、話し合いが充実してきた。 【次年度の方針】 ・学び合う授業を目指して、更に学習形態の工夫を図る。</p>	児童	87.9%	教職員	96.4%
	児童	87.9%					
	教職員	96.4%					
	<p>A18 児童は、落ち着いて学習に取り組んでいる。 【数値指標】全体アンケートの「児童は、授業中に先生や友達の話をよく聞くなど、落ち着いて学習している」 ⇒児童・教職員の肯定的回答率 85%以上</p>	<p>・「きらきら細谷っ子の学習のやくそく」が日常的に守れるように指導する。特に、チャイム着席、返事、はっきり話すことなどの定着を図る。 ○地域学校園で共通理解し、落ち着いた学習態度の定着を図る。</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <tr> <td>児童</td> <td>83.6%</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>82.1%</td> </tr> </table> <p>・「きらきら細谷っ子の学習のやくそく」が日常的に守れるように繰り返し指導することで、成果が上がった。 【次年度の方針】 ・朝の学習の取り組みを全校で見直す。 ・学習準備の定着をより一層図り、更に落ち着いて授業が始められるように繰り返し指導していく。</p>	児童	83.6%	教職員	82.1%
児童	83.6%						
教職員	82.1%						
<p>A19 児童は、地域でのボランティア活動や行事に参加している。 【数値指標】全体アンケート「児童は地域でのボランティア活動や行事に参加している」 ⇒保護者・地域住民の肯定的回答率 80%以上</p>	<p>・日頃より地域の各種団体との連携を図り、行事等の情報を共有したり、児童の参加について促したりする。 ・現在地域で行われている行事や活動の様子を、学校だよりや掲示物・ホームページなどで紹介し、活動を活性化させるようにする。</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <tr> <td>保護者</td> <td>59.7%</td> </tr> <tr> <td>地域住民</td> <td>72.2%</td> </tr> </table> <p>・育成会主催の花壇コンクールやカルタ取り大会などの行事に参加する児童は限られており、保護者の意識も高くない実態がうかがえる。 【次年度の方針】 ・育成会等の団体と連携を深めるとともに、ボランティア活動の意義などについて児童の理解を深める機会を設けていく。</p>	保護者	59.7%	地域住民	72.2%	
保護者	59.7%						
地域住民	72.2%						
<p>B4 音読・漢字・計算の基礎的な学力が身につけている。 【数値指標】 学校アンケート「私は、宿題や復習、自主学習などに進んで取り組んでいる。」 ⇒児童・教職員の肯定的回答率 80%以上</p>	<p>・単元ごとの音読テスト、朝の学習を利用した計算練習、漢字オリンピックの実施(年2回)、宮っ子学カステップアップシート等を活用し、一人一人の学力の定着・向上を図る。 ○家庭学習への取り組みせ方についても共通理解を図り、児童や保護者に対しても、「学習の仕方」「家庭学習の大切さ」などを知らせ、家庭学習の充実をめざしていく。</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <tr> <td>児童</td> <td>83.6%</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>88.9%</td> </tr> </table> <p>・漢字・計算オリンピックは基礎学力の定着のために効果的だった。 【次年度の方針】 ・漢字・計算オリンピックを継続し、基礎学力の定着に一層取り組んでいきたい。 ・自主学習の方法を見直し、宿題の充実を図っていく。</p>	児童	83.6%	教職員	88.9%	
児童	83.6%						
教職員	88.9%						
本 校 の 特 色 ・ 課 題 等	<p>[心の教育の充実] B5 地域の学校や高齢者との交流活動の中で相手を思いやる行動ができる。 【数値目標】 学校アンケート「私は、なかよし班で活動するのは楽しい」 ⇒児童・教職員の肯定的回答率 85%以上</p>	<p>・豊かな感性の醸成を図れるように心の教育活動(なかよし班活動・高齢者との交流・聾学校との交流・幼稚園との交流)を行う。 ・交流活動の中で身に付いたものが、日々の学校生活の中でも生かせるよう支援していく。</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <tr> <td>児童</td> <td>87.0%</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>89.3%</td> </tr> </table> <p>・行事の中では良い行動ができるが、日常生活に結び付けるのは難しい。 【次年度の方針】 ・豊かな感性の醸成を図れるように心の教育活動(なかよし班活動・高齢者との交流・聾学校との交流・幼稚園との交流)を行う。 ・交流活動の中で身に付いたものが、日々の学校生活の中でも生かせるよう支援していく。 ・なかよし班の活動について、職員全体で検討し改善を図る。 ・児童会や高齢者交流などの各行事についても効率化に向けて検討していく。</p>	児童	87.0%	教職員	89.3%
児童	87.0%						
教職員	89.3%						

<p>B6 学校図書館の活用や地域の方による読み聞かせ活動の充実を図り、読書活動を推進している。</p> <p>【数値目標】 学校アンケート「児童は読書を楽しんでいる」 ⇒児童・保護者の肯定的回答率90%以上</p>	<p>・朝の読書やボランティアによる読み聞かせ、委員会による読書イベントを通して、読書活動の充実を図る。</p> <p>・学校図書館や、学級文庫の本の充実を図る。</p> <p>・家読のすすめを行い、家庭での読書意欲の向上を図る。</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1" data-bbox="1013 159 1508 226"> <tr> <td>児童</td> <td>89.6%</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>89.1%</td> </tr> </table> <p>・図書室内で行ったイベントやボランティアによる読み聞かせによって、本への関心が高まった。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>・朝の読書やボランティアによる読み聞かせ、委員会による読書イベントに加え新書の紹介などで読書活動の充実を図る。</p>	児童	89.6%	保護者	89.1%
児童	89.6%					
保護者	89.1%					

〔総合的な評価〕

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

- ・前年度と比較すると、教職員・地域住民及び児童の回答状況は同程度、保護者の回答状況は肯定的回答率が上昇している。
- ・市全体の結果と比較すると、各調査対象ともほぼ同様な数値傾向を示しているが、全体的にはもう一步のところである。
- ・肯定的回答率が数値目標を超えた項目が15項目、下回った項目についても4項目が複数対象のうちの一つがわずかに超えなかったものであり、おおむね平成30年度の取組の成果を上げることができた。

6 学校関係者評価

- ・虐待や体罰・いじめなどが話題になっているが、地域の力を高めてそのような事件が起こらないように見守っていききたい。
- ・あいさつについては、おおむねできているが、朝など下を向いて元気のない子どもがいる。
- ・学校からの依頼があれば、授業支援などのボランティア活動を行うので遠慮なく言ってほしい。
- ・農業体験活動については、宇都宮市の先駆けとして25年以上前に始めて以来、途絶えることなく実施してきた。伝統ある体験活動が学校教育の核となっている。
- ・育成会主催のカルタ取り大会や花壇コンクールなどの行事に参加する児童が年々減少している。
- ・登下校の見守りボランティアの高齢化が進んでいる。
- ・今後も学校・地域・家庭がしっかり連携して子どもたちの成長を見守っていききたい。

7 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

- 2019年度も、本校の特色である「交流活動」を核とし、子どもたちが思いやりの心もち、いきいきと学校生活を送れるよう家庭・地域と連携しながら教育活動を進めていきたい。
- 【教育活動】
- ・家庭、地域との連携・協力を深めながら「交流活動」「体験活動」を充実させ、心豊かな児童の育成を図っていく。
- 地域学校園では、取り組み内容を見直し、持続可能で有益な活動を実施していく。
- 【学習面】
- 学習習慣の育成・徹底のため、地域学校園で「家庭学習のあり方」等についてもさらに研究を深め、様々なニーズに応じた個別指導の支援体制の整備と指導の充実に向けていくとともに家庭と連携した取組を推進していく。
 - ・学校全体として、学力向上に向けた取組をさらに充実していく。
 - ・「誰もが分かる楽しい授業」の具現化を図るとともに、教職員の指導力向上のための取組をさらに充実させていく。
- 【生活面】
- 地域学校園で作成した「生活のきまり」を各校で共有し、「あいさつ」「返事」「言葉遣い」など、学力向上にもつながっていく基本的な生活習慣の向上について、全校体制で指導を継続強化していく。特に、家庭、地域と連携した「あいさつ」「言葉遣い」に関する取組を引き続き推進していく。